



今後の動向に注意！ 新型コロナウイルス感染症

令和5年6月28日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

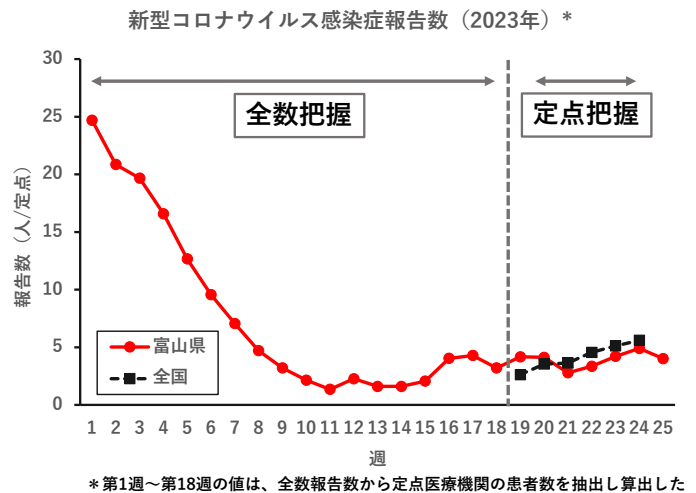
感染症発生動向速報

(令和5年第25週分・6月19日～25日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

2022年末にピークを迎えた新型コロナウイルス第8波の報告数は、2023年第10週頃にかけて大きく減少しました。その後、令和5年5月8日(第19週)から新型コロナウイルス感染症の発生動向は全数把握から定点把握に移行しました。定点医療機関あたりの報告数は、全国レベルでは第19週以降緩やかな増加が継続しています(右図参照)。特に、沖縄県(第24週28.74人/定点)においては感染拡大が明らかとなっています。一方、富山県の定点医療機関あたりの報告数はほぼ横ばいの状態が継続しています。過去3年間、夏季に感染拡大を経験していることから、今後の動向には注意が必要です。



現在、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策は個人の判断が基本となっています。感染予防を自主的に判断して実施する場合には、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けること等が有効です。高齢者等の重症化リスクの高い方への感染を防ぐ手段として、不織布マスクの着用も効果的です。新型コロナウイルスに感染した際には、発症後5日間が経過し、かつ解熱および症状軽快から24時間が経過するまでは外出を控えることを、厚生労働省および富山県は推奨しています。発症後10日間は、不織布マスクを着用して高齢者等の重症化リスクの高い方との接触は控える等、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。県ホームページでは「外来対応医療機関」として、検査・診断にアクセスしやすいよう医療機関を公表していますので、詳しくはこちら(<https://www.pref.toyama.jp/120507/0426.html>)をご確認ください。

《全数報告の感染症》

- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(70歳代、男性、O157、VT1VT2)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、女性、C群、G群)
- 破傷風 1件(第23週診断分:70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	ヘルパンギーナ	6.86(↑)	5.21
2位	感染性胃腸炎	5.45(↓)	6.07
3位	COVID-19	4.02(↓)	4.90
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.52(↓)	3.07
5位	RSウイルス感染症	2.21(↑)	1.14
6位	咽頭結膜熱	0.69(↓)	0.93
	手足口病	0.69(↓)	1.31



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第25週 令和5年6月19日～令和5年6月25日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核						2	4	16	3	41	66		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1			2	2	4		
	四類感染症	オウム病								1				1	
		日本紅斑熱										1		1	
		レジオネラ症							1	1	8	1	5	16	
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4	1	4	9	
		急性脳炎										1	1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			5	1	5	11	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	5	6	
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	3	1	10	16	
		水痘（入院例）								1			1	3	5
		梅毒										1	1	10	12
		播種性クリプトコックス症							1						1
破傷風											1			1	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）		インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ				10	4	14	791	1,366	3,290	1,126	4,692	11,265
	COVID-19（※1）		35	32	60	29	37	193	257	159	396	225	286	1,323	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	2		36	2	24	64	34	72	272	138	284	800	
		咽頭結膜熱	1	2	8		9	20	49	34	153	40	131	407	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		39		32	73	29	6	613	3	418	1,069	
		感染性胃腸炎	18	31	18	5	86	158	520	655	1,181	771	3,649	6,776	
		水痘		2			1	3	3	13	24	4	46	90	
		手足口病	2	1	11		6	20	10	4	82	4	56	156	
		伝染性紅斑					1	1				1		5	6
		突発性発しん			3		2	5	11	20	65	20	42	158	
		ヘルパンギーナ	6	15	90	9	79	199	37	35	419	45	223	759	
		流行性耳下腺炎					1	1		1	8	2	7	18	
		眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			2			2	1		19		1	21
						1.00			0.29						
		基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎									4			4
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											5		5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							3	3	13	18	32	69		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

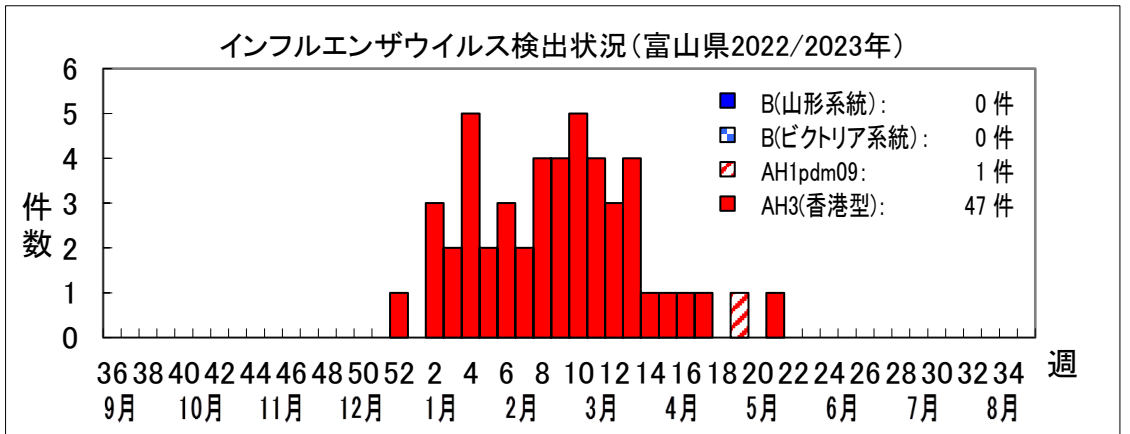
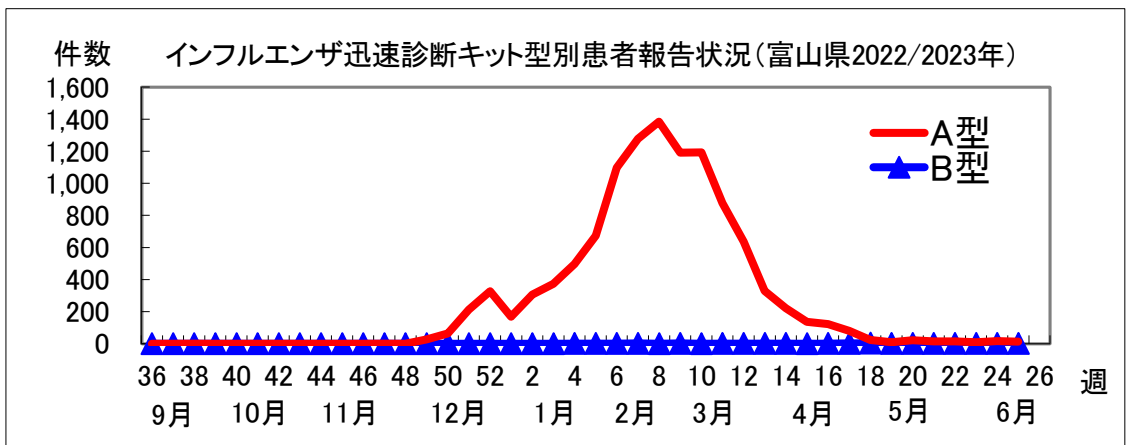
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が92.9%となっています。

第25週(6/19～6/25)：富山県 0.29人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	2 / 7	10	0	0	10
富山市	3 / 16	3	1	0	4
富山県	5 / 48 ^{※1}	13	1	0	14
富山県累計(2022年36週～)		11,322	25	561	11,908

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が5か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



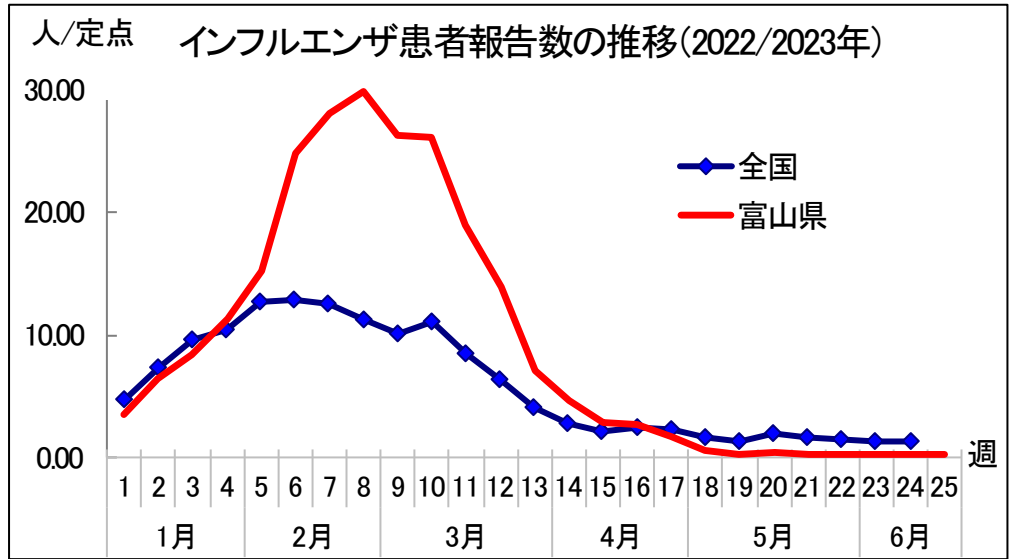


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第25週 (6/19~6/25) : 富山県 0.29 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (1.43)、富山市 HC (0.25)

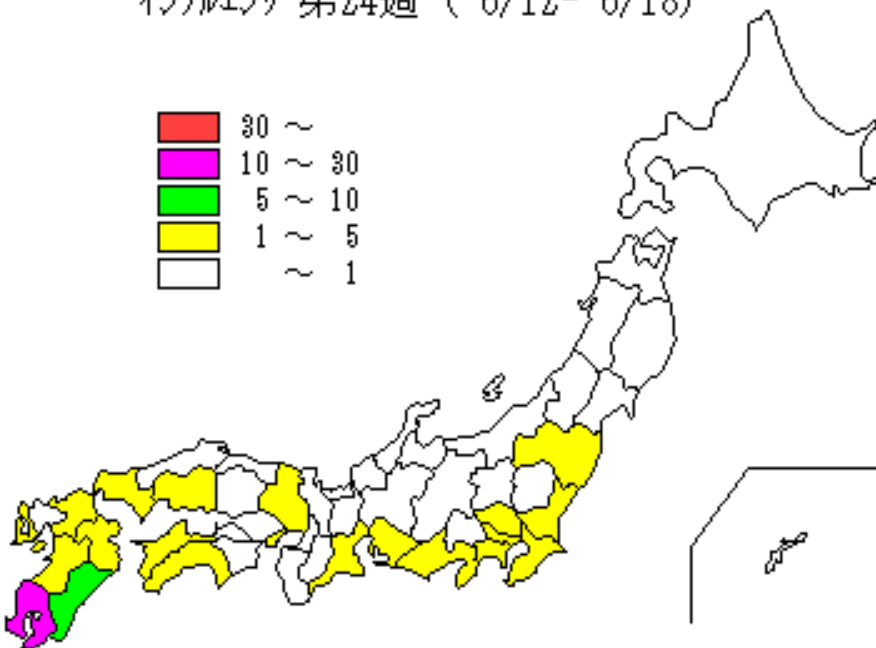
県内の患者報告数は流行の目安である1.0人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第24週 (6/12~6/18)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.29 人となり、前週の 1.36 人より減少しました。34 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第24週 (6/12- 6/18)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.77	滋賀県	0.68
青森県	0.20	京都府	0.33
岩手県	0.21	大阪府	0.65
宮城県	0.60	兵庫県	1.15
秋田県	0.08	奈良県	0.64
山形県	0.16	和歌山県	0.33
福島県	1.52	鳥取県	0.14
茨城県	1.12	島根県	0.79
栃木県	0.26	岡山県	0.18
群馬県	0.66	広島県	1.37
埼玉県	1.11	山口県	1.94
千葉県	1.25	徳島県	0.16
東京都	1.33	香川県	0.13
神奈川県	1.00	愛媛県	3.80
新潟県	0.60	高知県	2.61
富山県	0.35	福岡県	1.14
石川県	0.08	佐賀県	0.21
福井県	0.38	長崎県	4.47
山梨県	0.22	熊本県	1.71
長野県	0.20	大分県	2.10
岐阜県	0.54	宮崎県	8.16
静岡県	1.13	鹿児島県	10.55
愛知県	1.73	沖縄県	0.70
三重県	1.53	全国	1.29